

## メキシコ、エルサルバドルにおける分子病原体診断と超音波検査による シャーガス病診療アルゴリズムの実装促進事業

シャーガス病は、ラテンアメリカ僻地の貧困層に偏って影響を与える熱帯病である。検査資源の不足する流行地では、超音波（US）診断やPCRによる分子病原体診断のキャパシティが限られ、これらへのアクセス不良が原因で診断や治療の質低下を招いている。本事業では我々、シャーガス病診断の専門知識と技能に秀でた大阪公立大学の医師らが、メキシコ、エルサルバドルの国立研究所や中核病院を拠点にUS、PCR検査技術を導入し、これらを独立して担える人材を育成することで、同地におけるシャーガス病の病期診断や治療方針決定の質向上を目指す。現地研修と日本での高度技術研修からなる、双方向型人材・技術交流の組み合わせで、実践でのハンズ・オン・トレーニングを通して、現地専門家を育成する。1年間の事業期間終了時点で、独立してUS、PCRを実施可能なローカル・パートナー（医師、検査技師）が合計14名以上育成されることを目指しており、以後は彼ら彼女らが自ら同地における自律発展的な人材育成を担う計画である。中央から地方へと、US/PCR検査体制強化、診療アルゴリズム標準化が波及することで、流行全域での医療水準向上や健康格差是正が将来的に実現する。

